（別添資料１）

事業所名　みなと学園

# 支援プログラム（参考様式）

作成日　2026 年　11 月　1 日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | 共に生きる　「仲間と共に生きる」「自然と共に生きる」「地域と共に生きる」「世界と共に生きる」「大人と子どもが共に生きる」 | | | |
| 支援方針 | 子ども達や保護者が安心して休める場所、成長できる場所として居場所作りを支援してまいります。 | | | |
| 営業時間 | 10 時 00 分から 14 時 00 分まで | | 送迎実施の有無 | あり　(なし) |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援　健康・生活 | ・学校や家庭と連携した体調等の情報共有。<br>・午前中からの預かりにより、規則正しい生活習慣の確立。<br>・個室等、本人が安心できる環境の整備。 | | | |
| 本人支援　運動・感覚 | ・集団遊び等を通じて、楽しみながら体を動かせるようにします。<br>・近隣の公園などの施設を利用して、体験活動の充実に取り組みます。 | | | |
| 本人支援　認知・行動 | ・友人や職員とのかかわりの中で自分の気持ちや体験を適切に表現できるように支援をします。<br>・人とのかかわりの中でやり取りを楽しみながら、思いやりや協調性を育めるように、安心できる環境づくりに取り組みます。 | | | |
| 本人支援　言語<br>コミュニケーション | ・挨拶や集団活動を通して、場面に応じた自己表現ができるように支援をしていきます。<br>・職員は一人一人と向き合いながら、子ども達がゆったりと安心できる環境で自己表現できるように支援をしていきます。 | | | |
| 本人支援　人間関係<br>社会性 | ・小集団でのSSTや集団遊びなどを通して、ルールの理解や自己調整能力を育んでいく。<br>・利用者の発達段階に応じて、役割などを与え、自己有用感を高めていく。 | | | |
| 家族支援 | 面談や連絡帳等により日々のやり取りにより、情報共有しつつ、家族の不安や心配事を軽減する。 | | 移行支援 | 学校や関係機関と連携して、事業所での様子や本人・家族が抱えている困りごとなどを情報共有する。 |
| 地域支援・地域連携 | 近隣にある関係機関との連携により、協力関係・信頼関係を築いていく。 | | 職員の質の向上 | ・毎月の職員会議での計画的な研修<br>・専門職としての必要な資格の取得 |
| 主な行事等 | 外出イベント<br>季節ごとのイベント | | | |